



2009-10年度 国際ロータリーのテーマ THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS
(ロータリーの未来はあなたの手の中に)

方針

修練

会長 清水 茂彰

■プログラム

「会員卓話」



今井 聡会員

9月に入会いたしました今井です。本日はよろしく申し上げます。本日は、私の今までの生い立ちの中で、北海道との少なからず縁がありましたので、そのエピソードを中心として、自己紹介をさせていただきます。

私は、7月にドコモの東京本社から帯広支店に転勤となり、現在、単身赴任中です。家族は妻と子供が2人の4人家族でございます。私は、昭和44年(1969年)5月に東京の杉並区浜田山という所で生まれました。現在40歳で来年「厄年」でございます。

小学校及び中学校は、地元の杉並区立の学校に通っていました。小学校時代は野球少年でした。また伯父が子供達を自然に触れさせるキャンプの団体に携わっていたので、小学校4年生から参加していました。その場所が、「北海道」の釧路にある「鶴居村」でありました。小学校時代は、毎年、夏休みに10日間、その鶴居村という大自然以外に何も無い場所でテント生活を送っていました。中学に入学すると、足が速かったこともあり、先輩に声をかけられて、陸上部で主に長距離を走っておりました。中学校時代も1年、2年の時は夏休みに毎年「鶴居村」で過ごしていました。そのキャンプに高校生や大学生が世話役として参加しているのですが、そのキャンプの日程が終了した後に、バイクや自転車で北海道を回っている方々も参加しており、子供ながら、非常に感銘を受けました。自分も高校生になったら、自転車で北海道を走ってみたいと！心に決めました。高校は、清水会長の後輩となるべく、法政大学の付属である、法政大学第一高校へ入学しました。高校に入学すると、すぐにツーリング用の自転車やテント等のキャンプ用品を購入し、毎年、一緒にキャンプに参加していた友人と毎晩、自転車に乗って、北海道を走りきる体力づくりに励みました。そして、高校1年の夏に、世話役として、キャンプに参加し、キャンプ期間終了後に自転車ツーリングを敢行しました。1日どれだけ走れるのか？も良く分からなかったもので、とりあえずの目標を最北端の地である「宗谷岬」に設定し、その後は、体力と気力と夏休みの期間との兼ね合いで行けるころまで行くということになりました。その時のルートはうろ覚えですが、釧路から阿寒・摩周・屈斜路湖・網走・それからほぼ海岸線をずっと北上いたしました。当時、高校生で自転車のツーリングをしている人が少なかったので行く所行く所で、色々な方々に声をかけられ、キャンプ場に泊まるとは、一緒にご飯を食べさせていただいたりしていました。今でも記憶に残っているのは、豪雨のなか、阿寒湖の近くにある食堂、今でも食堂の名前は覚えていますが「パンビ食堂」という食堂で、ズブ濡れになった私達を「可哀想に」と風呂に入れてくれたこともありました。また、阿寒湖畔にあるお土産屋、このお土産屋もいまでも覚えてます「熊の家」では、ご飯をご馳走になりました。本当に北海道の方々は温かく親切だなと思いかけて、宗谷岬に到着したときの感動と言うか達成感は今でも忘れられません。宗谷岬でエンドレスに流れていた「宗谷岬」という曲は絶対に忘れてはならない曲だと思ひ、その曲を覚えるぐらいまで宗谷岬で感動に浸っていた記憶があります。その後、どのようなルートを辿ったかは定かではありませんが、札幌まで行きました。札幌駅前には自転車、バイクやヒッチハイクなど様々な手段でツーリングをされている方々が沢山集まり、毎晩宴会状態でした。たいてい、ギターを担いでツーリングをしている人が居て、毎晩、長瀬剛の大合唱をしていた記憶があります。あの当時は、ツーリングをしている方々は何か長瀬剛が好きでした。札幌駅前での野宿が楽しくて、なんと札幌駅に3連泊してしまいました。本当は、函館まで行きたかったのですが、札幌駅3連泊のお陰で、もう走る体力、気力もなく、また、夏休みの期間も少なくなってきたので、自転車を東京に送り、青春18キップでひたすら各駅停車で帰ってきました。ツーリストが、

集まると、ここが良かった、ここに行ったほうが良いという情報交換をする訳ですが、結構帯広の話題が出ていて、帯広には世界一長いベンチがある、幸福駅、愛国駅という駅がある、大きな花時計があるという情報を聞いて是非翌年に行ってみたいと思いました。そして翌年にまた挑戦しました。今回の目標は、前の年に北側を走ったので、南側を走り、父親の知り合いがいる「松前」を目標に設定しました。翌年も恒例の世話役としてキャンプに参加し、キャンプ期間終了後に釧路から、前の年にお世話になった「パンビ食堂」、「熊の家」に挨拶に行き、その後、帯広の長いベンチ、幸福駅、愛国駅、花時計を見た後に、襟裳岬、苫小牧、函館、松前と走り回りました。高校生時代は、走っている時は辛かった時もありましたが、今思うと楽しく、そしてまた、貴重な経験をしました。今でも、壁にぶち当たったりすると、当時の写真を見て、自分を奮い立たせることがあります。以上が、小学校、中学校、高校時代の私と北海道との縁です。小さい頃から北海道の大自然及び北海道の方々の方々に温かさに触れているので、北海道が大好きでありました。その後、清水会長の後輩となるべく、法政大学に進学し法学部で主に労働法を中心に勉強をしていました。また、小さい頃から水泳をやっていたこともあって、杉並区の水泳指導員の免許を取得し、主に子供達に水泳を指導していました。

そして、平成4年にNTTに入社しました。平成4年と言うと、バブル期の最後の年の入社です。就職活動中、ずっと移動体通信に携わりたいと言っていたので、7月に別会社になるのを前提にNTTの移動体通信事業本部に配属となり、7月のNTTドコモ発足と同時に転籍しました。よって、NTTに入社しましたが、NTT社員であったのは僅か3ヶ月あまりでした。新入社員研修が終了して、本配属地が「札幌」でありました。小さい頃から北海道に慣れ親しんでいたもので、特段ショックも無く喜んで赴任した記憶があります。但し、12月に赴任したため、夏の北海道しか知らなかった私は、冬の北海道の厳しさを思い知らされました。まず、毎日雪の生活、それから、まともに歩けない。少し歩いては転ぶの繰り返しでした。旅行で来るのと、生活するのでは大違いで、本当に東京に帰りたいたいと願う日々でした。但し、夏になると最高の地域で、高校生時代に自転車で走ったルートを車で走り、「よくも自転車で走ったな」と思いながら色々な所をドライブしていました。2年半近く札幌で暮らしましたが、厳しい冬も3シーズン経験し、かなり北海道での生活にも慣れ親しんだ頃に、東京への転勤への話がありました。時期としては、平成7年の4月です。その時に、上司に「もう少し札幌に残らせてほしい」とお願いしたぐらい住みやすい土地でありました。これが2点目の北海道との縁です。その後、10年以上、東京で人事の仕事をしておりました。帯広に来る前は、経営企画部でドコモの一家化に向けた仕事をしておりました。今年の7月に、以前に北海道での勤務経験もあり、札幌の支社に人脈もあると言うことで、帯広支店に転勤となり、現在に至っております。何故に単身赴任となったのかと言うと、今年の3月に私が生まれ育った街である東京の杉並区に念願のマンションを購入したばかりと言うこともあり、止む無く単身赴任を選択しました。以上が私の紹介でございます。

冒頭、申し上げたとおり、来年、厄年でございますので、健康管理等に留意しつつ、歴史と伝統のある帯広ロータリークラブ活動を始めたとした様々な活動を通じて、地域に貢献してまいりますので、是非よろしくお願ひします。

本日は、このような場を頂きましてありがとうございます。



西沢 功晋会員

10月14日に新入会員として活動に参加させていただいておりますSMBCフレンド証券の西沢功晋です。私は1965年(昭和40年)3月26日群馬県渋川市で生まれました。

渋川と聞いてもわからない人が大半だと思いますが、人口5万弱の伊香保温泉の玄関口で日本列島の真ん中に位置する所から日本のへそとして、毎年夏へそ祭りが行われております。そんな渋川の町で高校まで過ごし、その後一年浪人し中央大学に進学しました。大学時代は専らアル

バイトに明け暮れ一年間で200万円ぐらい貯金が出来ましたが、趣味のオーディオとバイクに全て消えてしまいました。今と違い当時は就職活動も引く手数多で、大学時代は法律を専攻していたので、両親はその分野に進んでくれるものと考えていたようですが、両親の願いと関係ない証券業に4年生の時に興味を持ち、いくつもある証券会社の中から社長の出身が群馬県で、「報連相が会社を強くする」という創業者山崎種二さんの考え方に共感を受け中堅の山種証券に入社しました。入社時期はバブルの時で最初に配属された店は実家がある渋川支店で7年間、その後埼玉の大宮支店で6年間、東京の池袋支店で4年間、本社がある東京の日本橋本社で2年間、そして現在帯広支店に配属され、2年8ヶ月営業畑で仕事をしております。

幼少の頃から父親の影響か日本史に興味を持ち、特に城が好きで小学校の頃は城のプラモデルをよく作っていました。現在は妻と5歳になる娘と三人暮らしですが、時間とお金の余裕があれば私は城を見に行きたい。と提案するのですが、妻は城に関心が無い為、娘を見方につけてごとうく却下され寂しい思いをしています。ちなみに好きな城は姫路城と熊本城そして松本城です。見てみたい城は四国の松山城、高知城そして丸亀城です。好きな武将は石田光成の参謀だった島左近です。なぜ島左近かと言うと、皆さんもご存知な関が原の戦い。結果は徳川家康率いる東軍の勝利で終わりましたが、戦いが始まる前から島左近は西軍の武将が石田光成の思惑通りにならないと解っていました。しかし主君の為、負け戦と解っていないが忠義を貫きました。そんな島左近の姿勢に今でも感動を受けております。話を戻しまして群馬県のことを少し話したいと思います。群馬県は関東地方の北部で人口約200万人。一応関東に属します。主な特産品はねぎとコンニャクが有名で下仁田と言う名前を聞いたことがある人はいると思います。また水沢うどんは香川のさぬきうどん、秋田の稲庭うどんと共に日本三大うどんの一つで、伊香保温泉を訪れる方は必ず食べて行きます。また政治においては戦後4人の内閣総理大臣（福田赳夫、中曽根康弘、小淵恵三、福田康夫）を出しており、県民は選挙の時は関心がある為夜遅くまで選挙状況を見入っています。また上毛カルタという群馬県しかないカルタがあります。このカルタは群馬の地名、人物、特産品をカルタにしたもので、県を挙げて取り組んでいます。特に小学生は村、町、市とそれぞれの大会で競い、個人戦と団体戦で優勝もしくは準優勝するとそれぞれの市町村の代表が今度は県大会で競います。私も小学生5,6年生の時は渋川の代表で県大会に出場し、準優勝した思い出があります。また十数年前に徳川埋蔵金の話がテレビで放映されましたが、その舞台となったのは群馬の赤城山麓です。なぜ群馬県に埋めたのか。それは徳川最後の勘定奉行である小栗上野介が、幕府がなくなる前に利根川を使って、地元である群馬に隠したと思われ説が有力とされており、いくつか文献にも載っております。

私も帯広に来て早2年8ヶ月が過ぎようとしています。関東から出たことがなかった私にとって感じたこと。それはまず第一にこの広い大地と自然が作り出す絶景ポイントが数多くあることには驚きました。知床半島はもとより大雪山の旭岳、オンネトー、層雲峡など五感で感じる感動がそこにはありました。また四季折々の群生の花、春には藻琴山の芝桜から始まり、上湧別川のチューリップ、富良野の花バンダー、能取湖のサング草群落など一度見たら忘れられない景色がそこにはありました。それとどこまでも真っすぐにのびる直線道路、北海道ならではの田園風景には心が洗われる思いでした。第二に食べ物と美味しい。そして安い。週末家族でいろんな場所へ出かけ、そこで特産物、名物を食べるともう一度食べたいなと思うのは、函館のイカ刺し、鵜川ものししゃも、厚岸のカキが印象に残っております。友人が北海道に来たらコレを食べなきゃと紹介したいグルメだと思います。ちなみに帯広限定だとザスプのバスタ、匠の蕎麦、まなべの洋食、久田のすし、雅のどんかつを私はお薦めしたいと思います。そして一番は帯広の人達の優しさです。ごく普通にしている会話。おはようございます。こんにちは。ありがとうございます。お疲れ様でした。皆が普通に出てくる言葉です。これが出来ることではありません。私は5歳になる娘がいますが、帯広の心優しい人達と同様に優しい気持ちを育ててもらいたいと思います。

最後になりますが、今年楽天を辞めた野村監督の野村ノートから私がか打たれた言葉があります。心が変われば態度が変わる。態度が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。運命が変われば人生が変わる。つまり心が変われば人生が変わる。といった言葉です。これはインドのヒンズー教の教えから引用したのですが、まさにそのとおりだと思いました。私も部下にこの言葉を使います。しかし、今までやってきたスタイルを急に変わるといってもなかなか変わるものではありません。そこで毎日少しでも部下と話す機会を設けなくてはなりません。今私が取り組んでいることは各個人の意識を改革することで支店をマンネリから変えることです。私も転勤族なので早ければ来年3月には転勤があるかもしれません。北は北海道から南は九州まで全国70店舗ありますのでどこに行くかわかりませんが、これまで親切にしてくれた帯広の人達と更に交友を深め、親切、感謝の気持ち

を持ってロータリーの活動をしていきたいと思っていますので今後ともよろしくお祈りいたします。本日はありがとうございました。



■会長報告 清水 茂彰 会長

皆さん今日は！先週の例会は欠席して申し訳ありませんでした。

代理で加藤副会長に報告していただきました。ありがとうございました。

今日は、ロータリー財団月間が続いておりますが、先日ロータリー財団の野村委員長より、各個人宛に「ロータリー財団へご協力をお願い」についての文書が届いたと思います。後、いくら寄付したらポールハリスフェローになるとかが理解出来ることだと思いますので、ご協力いただければと思います。

又、本日夕方(18時30分)より、新入会員オリエンテーションが開催されます。

その中で、高橋標元会長、合田修元会長にお話をいただきますので、ご理解をしていただきたいと思ひます。以上ご報告とさせていただきます。

■会務報告 渡辺 喜代美 幹事

(1)帯広西RC、夜間移動例会開催のご案内

日時 平成21年11月26日(火) 午後6時30分
場所 シャレード(西2南10 石川屋ビル5F)

(2)帯広RC、年次総会開催のご案内

日時 平成21年12月2日(水) 午後0時30分(例会時)
場所 ホテル日航ノースランド帯広

(3)帯広RC、年末家族会(夜間移動例会)開催のご案内

日時 平成21年12月16日(水) 午後6時
場所 北海道ホテル 宴会場「大雪の間」

会費 会員無料
同伴者様・大学生以上 5,000円
高校生以下のお子様 無料

■出席表彰

大滝 信臣 会員 41年・鈴木 樹 会員 29年・進藤 恒彦 会員 21年
曾我 彰夫 会員 20年・高橋 勝坦 会員 20年・神谷 昭典 会員 9年
平原 隆 会員 9年・松島 隆 会員 9年・森 武夫 会員 9年
小白 智志 会員 7年・合田 倫佳 会員 6年・讚岐 武史 会員 5年
田守 由宗 会員 5年・野村 文吾 会員 5年・石神 美代 会員 4年
倉野 賢 会員 4年・小倉 豊 会員 3年・工藤 大輔 会員 3年
中森 保 会員 2年・清田 幸孝 会員 2年・島田 哲男 会員 2年
木村 卓洋 会員 1年・橋枝 篤志 会員 1年

■委員会報告

・出席委員会 中森 保 副委員長

11月25日例会 会員総数97名(内免除会員9名) 出席者数59名
11月18日例会のメークアップを含む出席者数及び出席率 63名72.4%

・ニコニコ献金 池田 雄一 親睦活動委員長

細川 吉博 2500地区年次寄付恒久基金委員会委員長
11月18日ゲスト謝礼より(11月18日例会にて)

園尾 眞一 会員

今年、最後の宝くじを皆様にお買い上げいただき、ありがとうございます。年末に大きな夢が当たりますように、お祈りしております。

加藤 維利 会員

先週、会長代理の例会を何とかこなすことができました。ホッとしました。ありがとうございます。

大滝 信臣 会員 進藤 恒彦 会員 神谷 昭昭 会員 平原 隆 会員
松島 隆 会員 森 武夫 会員 小白 智志 会員 合田 倫佳 会員
讚岐 武史 会員 田守 由宗 会員 野村 文吾 会員 石神 美代 会員
倉野 賢 会員 工藤 大輔 会員 中森 保 会員 木村 卓洋 会員
橋枝 篤志 会員

出席表彰お礼。

田守 由宗 会員

長くて短い5年連続例会100達成する事が出来ました事、ロータリー皆様方の暖い御支援があればと思い心より御礼申し上げます。

倉野 賢 会員

ホームクラブ100%できました。まだまだ頑張ります。

今井 聡 会員

本日、新入会員卓話をさせて頂きます。少々緊張しております。

西沢 功晋 会員

本日、新入会員卓話をさせて頂きます。

■御誕生祝い

木村 卓洋 会員 竹川 博之 会員

■次週プログラム予定

12月2日 「年次総会」 (理事会)



↑携帯サイトができました。バーコードリーダーで読み込む事ができます。



例会日/水曜日 12:30~13:30 例会会場/ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

●創立/昭和10年3月15日 ●認証番号/3820 ●戦後再開/昭和25年12月19日

事務局/帯広市西3条南9丁目 経済センタービル4F TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033

●発行/クラブ広報 ●委員長/佐藤 真康・倉野 賢・島田 哲男・進藤 敦史・園尾 眞一

竹川 博之・梅安 雅満・蔦井 秀則・中島 一晃・新田 潔

●ホームページアドレス/http://www.obihiro-rc.co.jp